

僕の頭の中はまた真っ白になった

六月十六日から六月十八日

僕の頭の中はまた真っ白になった

僕の頭の中は真っ白で、どう家に帰ったのかはつきり覚えていない。

その後、数日間、まったく、僕は病気だった。

翌日火曜日、十六日、僕はいつもの同じ時間に家を出て、同じ時間に同じ電車で、三条京阪についたが、僕は、平静を装って、歩いていても、三条京阪のバス停に近づくのが怖かった。

バス停には、彼女はいなかった。会うのも怖いし、会わないとまた不安だった。

その次の日、水曜日、十七日も、同じで、彼女はいなかった。逆に、もう、どうなったのか、不安で、不安でならなかった。

彼女は僕を完全に避けてしまったのか！

帰りはクラブ活動があり、僕はいつも遅いので彼女に会うことが出来ない。まずまず、不安が募るばかりだった。

僕の気持ちは真っ暗だった。悪い方に、悪い方に、僕は考えるようになった。